

## タイム技研株式会社 丹羽公男名誉会長 渋沢栄一賞を受賞

大口町外坪区に本社を置くタイム技研株式会社の丹羽公男名誉会長が、長年にわたり健全かつ優れた企業活動や社会貢献活動に尽力された功績が認められ「渋沢栄一賞」を受賞されました。



※渋沢栄一賞とは  
近代日本の産業経済に大きく貢献し、福祉や教育などの社会事業にも尽力した渋沢栄一の生き方や功績を顕彰するとともに、この精神を今に受け継ぐ全国の企業経営者を対象として、埼玉県が表彰をのこなう賞です。

受賞されたお気持ちやこれまでの活動について丹羽会長にお聞きしました。

受賞おめでとうございます。受賞された率直なお気持ちを教えてください。

さ。誠にありがたいことで感激しています。

社会貢献活動とおして、今まで本当にたくさん笑顔と感謝の言葉をいただき、身に余ることと思いつつ、そのうち、渋沢栄一賞を受賞ということになり、感激と同時に恐縮しています。御社の業務内容について教えてください。

ガス、水・空気、電子、エコシステム等の4部門で、例えば、給湯器や業務用厨房機器などに使われる部品を製造し、国内外の非常に多くのメーカーに弊社の製品を採用いただいています。そのことは、弊社の責任が重大であると同時に、誇りでもあります。

経営者として大切にできたことはありますか？

絶対に不正はしないと心に誓っています。そのうえで3つのことを大切にしています。

①納税。毎年必ず利益を上げて納税の義務を果たす。

②社員満足度の向上。報酬は当然働く環境を快適に・安全に仕事ができるように整える。

③地域社会の一員として社会に貢献できる活動に積極的に取り組む。

社会貢献活動への取り組みについて教えてください。

一般財団法人タイム技研社会貢献委員会を立ち上げ、活動をおこなっています。取り組みのひとつに大口町の保育園園舎の建設資材として、21世紀創造の森(当社所有の山の名称)の木材を提供したり、大口町をはじめとした近隣市町の保育園からの遠足などの受け入れをおこなっています。

21世紀創造の森の木材を保育園の園舎にご提供いただいたり、園児が21世紀創造の森へ遠足として伺うようになったきっかけを教えてください。

鈴木町長から木造の保育園舎を新築したいという話を伺い、でしたら弊社所有の山があるのでその木を使えないかと持ち掛けたのがきっかけです。専門家に見ていただいたところ建設材として使えることがわかり、園舎の材木となりました。また、大口町には山がないので、子どもたちに生きた山を見てもうらなど、木の活用をと鈴木町長に提案をさせていただきました。とてもうれしく思っています。



▲材木となる丸太の搬出作業



▲遠足の様子